

## 事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	<small>おしまひやま</small> 渡島檜山地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	函館市ほか17市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	道、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>渡島檜山森林計画区は、北海道の南西部の渡島半島にある渡島総合振興局と檜山振興局を合わせた地域で、地形は東部の内浦湾から太平洋、西部の日本海、南部は津軽海峡と三方を海に囲まれ中央部を南北に1,000m級の山脈が縦断している縦長の計画区である。</p> <p>本計画区の総面積は657千haのうち、森林面積は530千haで、民有林は52%の274千haを占めており、そのうちスギ及びトドマツを主体とした人工林の面積は84千ha（人工林率31%）となっている。また、森林経営の基盤である公道を含む林内道路密度は11.3m / haとなっており、このほかに林道の支線として作業道が整備されている。</p> <p>計画区内の民有人工林84千haのうち43千ha（51%）が 齢級以下で、適正な保育を必要とする林齢にある。また、近年の木材価格の低迷と林業従事者の高齢化などにより手入れが不十分な森林が見られるようになってきている。</p> <p>このため、渡島檜山地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：34,924ha 人工造林、樹下植栽等、下刈、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：3,500m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：8,688,260千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.06 (総便益(B) = 69,378,613千円、総費用(C) = 13,689,732千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 渡島桧山

北海道  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	17,316,667	
	流域貯水便益	6,984,045	
	水質浄化便益	11,926,516	
山地保全便益	土砂流出防止便益	26,401,029	
環境保全便益	炭素固定便益	3,927,776	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	45,528	
	木材生産確保・増進便益	2,698,694	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	193	
	森林整備促進便益	78,165	
総 便 益 (B)		69,378,613	
総 費 用 (C)		13,689,732	
費用便益比	$B \div C = \frac{69,378,613}{13,689,732} = 5.06$		

